

山行NO NO. 1786  
日時 2018.03.26(月) 無風・快晴・やや低温  
山域 上越・東谷山東峰(1560m) 北沢(仮称)  
コース 二居(ふたい) 集落7:12—二居峠7:59—東谷山東峰10:19~48—北沢滑降—  
R1711:58—貝掛温泉バス停12:10—バス12:38—二居12:51  
標高差 上り 二居約850m~東谷山東峰1560m=約710m  
下り 東谷山約1560m~R17約758m=約802m  
参加者 GT, KH

## 北沢は試練の滑降だった

春スキー合宿3日目は、上越・東谷山。二居集落どん詰まりから出発。二居峠に上る。この林道は、旧三国街道だった。峠には簡単に着いた。



峠から真東に向かう。この辺りは、まだ上り易い。  
標高1150mに大きな鉄塔があった。



鉄塔上から尾根は細く急になった。  
スキーでは上れないので、背負って行く。背負った方が楽だ。  
上り切れば、なだらかで広い尾根に変わった。スキーには絶好だ。

展望は素晴らしく、平標山、仙ノ倉山、万太郎が大きかった。まだ、雪がベツタリ付いている。  
下方で声が響いた。人間の声はよく通るものだ。  
上から一人降りて来た。  
75歳、東京・雪稜会の男性Yさんだった。会は労山だった。



聞けば、昨夜は平標付近でテン泊し、早朝来たという。装備は年季が入っていた。それにしても元気な方だ。脱帽でした。握手して分かれた。



素晴らしい斜面が続く



Yさん

頂上に着いた。先ほどの、壺足の団体も上って来た。  
地元の方、東京の方とか混成のようだ。この先の、日白山（にっぽくやま）まで行くようだ。  
北面の沢を滑るといったら驚いていた。



他の団体



北沢を覗く。真北上部は可なり急だった。ルートは、北西の沢。  
上部を滑ってみた。北側ゆえカリカリの雪だった。この日は、気温が少し低めだったこともある。  
急でカリカリなので、なかなかターンが思い切れない。  
必然的にトラバースが多くなる。  
後でGPSを見たら、凄い「斜滑降」の連続だった。加えて、山行3日目で疲れもあった。  
無理は出来ない。滑落は出来ない。  
兎に角、安全第一で下る。冬のパウダーが嘘の様だった。春スキーの難しさ、試練だった。





いいブナが続く





それでも何とか高度を下げ、標高1000m付近から雪が緩んで来た。

最後はスギ林を通過し、目標の鉄橋にバッチリ出た。

R17のトンネルを潜らず、直接道路に上がった。丁度、バスが来たが行ってしまった。最近バス停以外停車しないらしい。

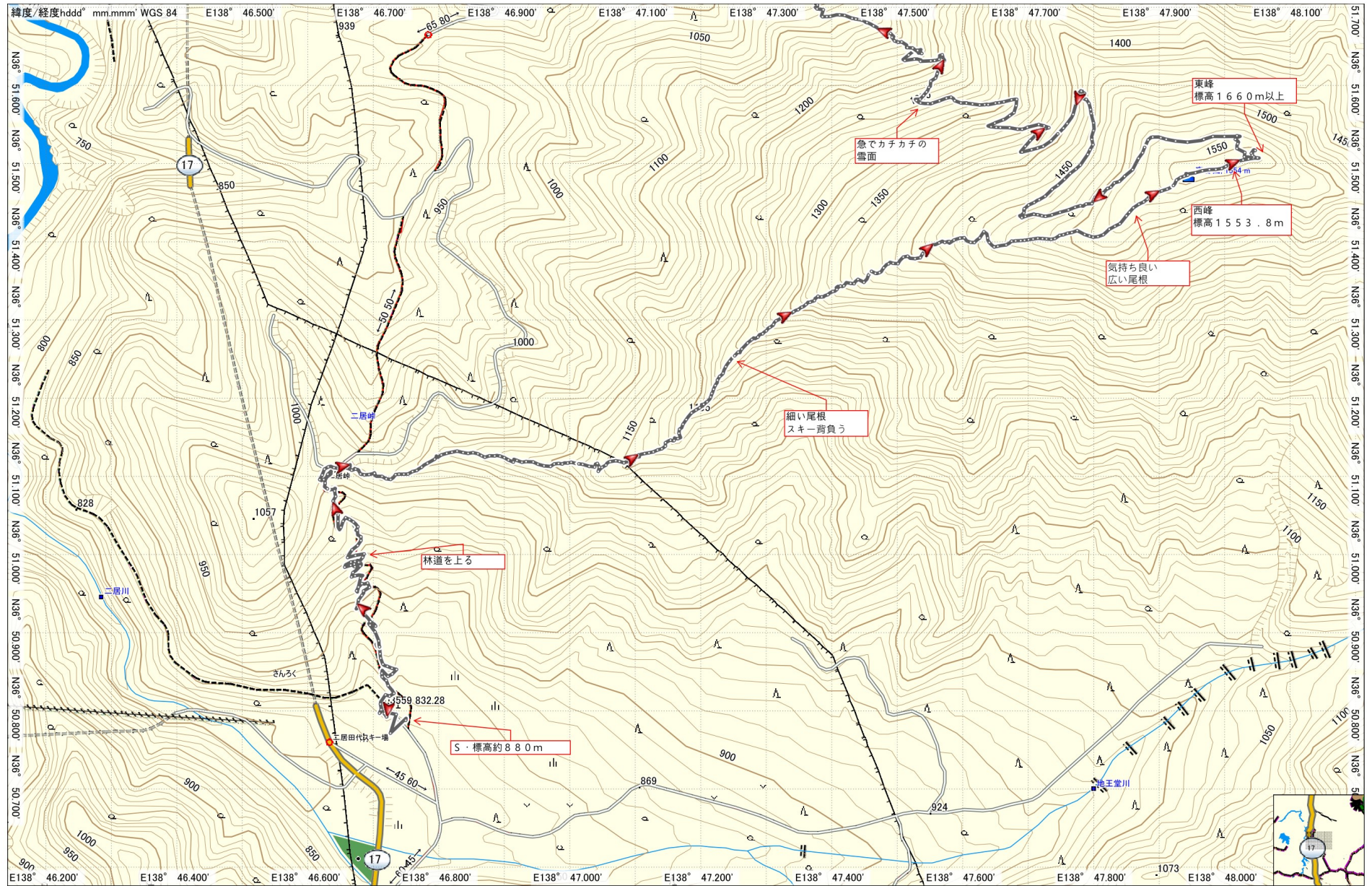
5分、貝掛温泉バス停まで歩き、12時38分で二居に帰って来た。バスは、南越後バス。時間は10分程。料金は200-+スキー代100-。若い綺麗な女性が乗っていたので声を掛けた。

駐車させて貰った「株式会社・文明屋」で昼食。今日は厳しいスキーだったが、3日間よく頑張った。疲れもピークで体はガタガタ。しかし今回は、内容のある充実したスキーと試練のスキーだった。また、頑張ろう。

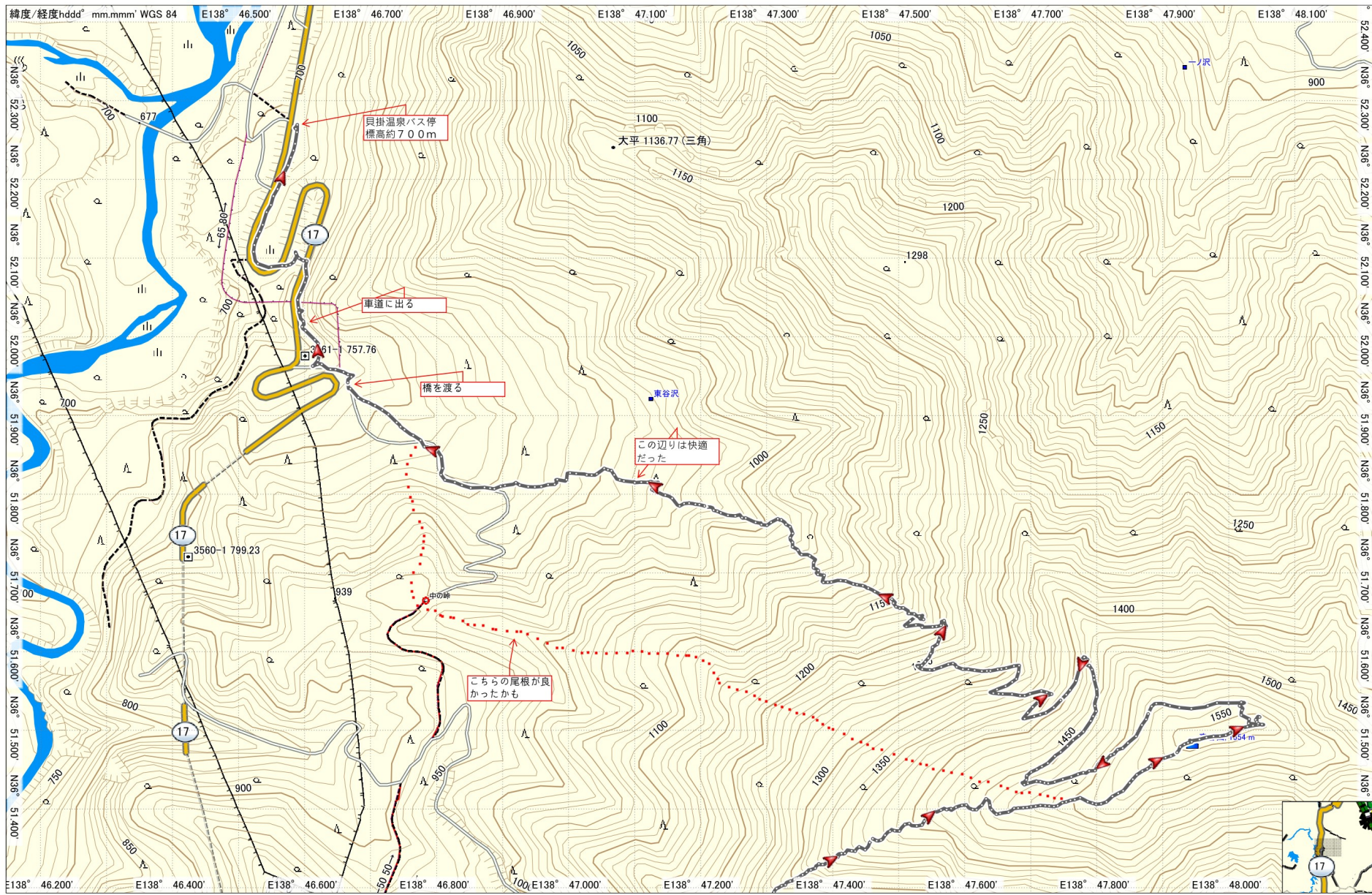
P S 帰って改めて地図を見て、北沢が難しかったので、沢の南の尾根を滑った方が良かったか。その辺の臨機応変・状況把握が、まだまだと反省しきりでした。





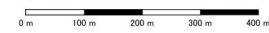






Japan Topo 10M Plus V3  
 CamesMapInfo Co., Ltd. 2014  
 Garmin Corporation 1999-2014

2018/03/27 5:54:27



GARMIN

